

# 米山奨学生 3 4

**ROTARY 2660 YONEYAMA ALUMNI KANSAI 2017-2018** 



### 目次

### あいさつ

2017-19年度 米山奨学生学友会 (関西) 会長

ディネス シュレスタ

2017-18 年度 国際ロータリー第 2660 地区ガバナー

片山 勉

2017-18 年度 国際ロータリー第 2660 地区ガバナーエレクト

山本 博史

2017-18年度 国際ロータリー第2660地区米山奨学委員会 委員長

田中 隆弥

2017-18年度 地区米山奨学委員会副委員長

岡部 倫正

### 現役奨学生感想

禹 梨奈 『米山奨学生感謝と贈る言葉』

ラッセル・フロンク 『こんなにもらっていいんですか?米山奨学生として得たもの』

フレイディアント 『米山奨学金と私の関わり』

グオバツキ ヤクブ ボイチェフ 『米山奨学金と私の関わり』

Trevor Arthur oldcroft 『米山奨学金と私の関わり』

Petrov Alexander 『私を強くしてくれてありがとう』

王 茀 『絆』

孫 雲之鵬『今までロータリー米山奨学生の一員として体験したことや勉強したこと』

薛 頌平 『『米山奨学金と私の関わり』楽しみ、成長と感激の | 年間』

王 敏知 『感謝の言葉』

趙 思邈 『米山奨学金と私の関わり』

### E間行事報告

『奈良の企業見学へ行ってきて』 禹 梨奈

ディネス シュレスタ 『2017年度米山総会及び新規奨学生歓迎会』

玉 翠 『ロータリー米山記念奨学財団設立 50 周年祝い世界米山学友から~~【感謝 in 熊本】』 何

アリフザイニ 『BBQ@淀川』

『クリスマス忘年会の幹事として感謝の気持ち』 劉 春倩

李 『学友の輪を広げて邁進せよ - 2018 東京ナイト』 政

『恩を次世代に- 2018 東京ナイト』 陳 佳怡

『『財団設立50周年記念式典』からのレポート』 林 小微

Jordan Bukikosa 『米山感謝祭』

何 玉 翌 『韓国米山総会に参加、雑記』

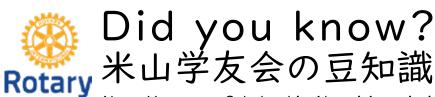
『米山奨学学友会総会に参加して』 泉 博朗

2017年度会計予算書

2017年度会計収支決算書

2018年度会報募集要項

米山学友会世界大会 IN モンゴル



About Yoneyama Scholarship Alumni Association

### 学友会とは?

ことを目的とする非営利組織です。

### イベントなどの最新情報を提供

本会は、ホームページや Facebook 等による運営を行なっ ております。また、メーリングリストによる一斉送信も行 なっております。皆さまのご登録、心からお待ちしており ます。

Webside: http://yoneyama2660.com/ Facebook: https://www.facebook.com/yoneyama2660 Email: yoneyama2660@gmail.com

### 学友会の会員になる方法

本会は、元・現米山奨学生間の交流を通じて、親睦および 関西に在住の元米山奨学生(OB.OG)現役奨学生の方々は 互助を促進すると共に、国際親善・世界の平和に寄与する 全員は本会の正会員、準会員とする。関西近辺にいる学友の 皆さま、是非一緒に本会の活動にご協力、ご参加をお願い致 します。

### 会費は必要ですか?

年会費は2012年度により廃止されました。 ※但し、活動参加費のみ徴収しております。

### 学友の活動とは?

異文化理解から語学力発揮、ボランティア活動から地道な お手伝いまで、学友たちが力になれるところで、今までの 恩に感謝する気持ちを込めて貢献しております。



友のみなさま、お元気ですか?この一年間、総会・感謝際・クリマス会など含む約15の色々な行事や活動がありました。参加されて、いかがでしたでしょうか?どの行事が自分にとって印象深かったでしょうか?

2017-18 年度の米山学友会(関西)の テーマは「Action With Smile」意味は何 事でも笑顔で楽しく実行することです。

学友会の目的は奨学生期間終了後も元 奨学生(学友)及び現役奨学生とロータ リアンの交流・国際親善に世界平和の創 設と維持に貢献すること。

地区ロータリーとの協力・連携をとってロータリアンと人間関係の構築すること。

2017-2018 年度は米山記念会財団設立50 周年の記念すべき年度です。この間に奨学生・学友が延べ2万人超えました。これは2万人いや、ロータリアンの先生方も含めるともっと多くの仲間が世界中

にいるということになります。これはす ごいことです。誰にも取られない学友の 大事な宝物と言っても過言ではありませ ん。

以前韓国学友会の総会2回と去年12 月に台湾学友会の総会に参加した時も感じたことですが、先ず学友の皆さんと居るときは日本語で普通に会話でき、全个外国に来ていると感じません。そことや良くなり、米山奨学生時に学んだことで感動の気持ちをわいてきました。

2019年の夏はモンゴル学友会のホストで世界米山学友会を行われることになっています。関西からも大勢の学友・奨学生・ロータリアンの先生方と参加したいと思います。

そして、できるだけたくさんの活動に 参加し、感動と感謝の気持ちを感じましょう。



### → の度は米山奨学生を終了されました こと、心より御祝い申し上げます。

今年度は米山記念奨学会財団創立50 周年、全国組織となった米山記念奨学会 が奨学生を初めて受け入れて60年、そ して米山梅吉生誕150周年の節目の年 度となりました。昨年8月26日に世界 米山学友による「感謝in熊本」、今年 2月4日に「米山梅吉生誕150周年 記念式典」が開催されました。そして 2018学生年度に受け入れ奨学生数が 2万人を超えるまさに記念すべき年度と なりました。米山学友会(関西)の皆様 は、「感謝 in 熊本」では、企画段階から経験と人脈を生かし、中心的役割を担 い、大盛況となり、次回の2019年モ ンゴル・ウランバートルでの開催に繋が ることでしょう。また昨年11月10日 に開催しました当地区地区大会の会長・ 幹事部門分科会では、米山学友親善大使 于咏さんの講演を通じ、出席されたロー タリアンの皆様に米山学友の素晴らしい 成長と活躍している姿をみていただき、 米山奨学会への理解を深めることができ たと思います。

大学の奨学金制度は多数ありますが、 その殆んどが金銭的援助にとどまり、米 山奨学会のように人間としての成長を目 的としている制度は稀です。米山奨学生 には世話クラブがあり、カウンセラーが つき、月1回は世話クラブの例会に出席 する義務があります。奨学生に皆さん は、月1回の例会出席だけではなく、で きるだけ例会への出席を多くし、様々な クラブ行事に参加することによって、人 と人との交流が拡がり、深まります。 の多くの人との交流を通じて、人間とし て成長し、ロータリークラブが目指す世 界理解・国際親善・世界平和に貢献する リーダーとして社会で活躍されますこと を願っています。奨学生の期間が終了し ましたら、是非米山学友会に入会され、 人とのつながりを増やし、そしてこれ迄 に出会った「ご縁」を忘れずに大切にし ていただきたいと思います。

最後になりますが、関西米山学友会の 益々のご発展並びに皆様のご多幸とご活 躍を祈念申し上げます。



ータリー米山奨学生学友会(関西)の皆様には、日頃から米山奨学事業をあらゆる面で支援して頂いておりますことに、心より御礼申し上げます。

2017-18 年度は、公益社団法人 米山記 念奨学会 設立 5 0 周年と米山梅吉氏の 生誕 150 年の記念すべき年で、当地区で も例年にも増して米山奨学事業の実施、 啓発活動と力を入れ、米山学友会(関西) の皆様のご協力も得て大いに成果を上げ る事が出来ました。

また、2015 年ソウル国際大会においての「米山学友懇親会」の大成功、2016年「感謝 i n熊本」の大盛会と「世界米山学友会」の発足、更に2019年7月に世界米山学友会 in ウランバートルが開催予定と米山の絆が、世界に確実に広が

っており、その先頭に立って牽引してくださっているのが学友会(関西)の皆様です。お陰様で当地区内でも米山奨学事業への賛同者、理解者も年々増加し、奨学生のお世話をしたいと言ってくださるクラブも増え、地区で受入クラブを選考しなければならないという、ある意味有難いような悩みのある状態です。

今後とも、ロータリーのビジョンにあるように、持続可能な良い変化を生む為に、手を取り合い行動して行きましょう。この頼もしい米山学友会のリーダー的存在である米山奨学生学友会(関西)の皆様と共に活動できることを誇りに思い、我々ロータリアンも行動致します。

末尾になりましたが、米山奨学生学友会(関西)の益々の御発展を祈念申し上げます。



2018学年度米山記念奨学生の皆さん、2660 地区へようこそ。4月4日の湖邸滋びわこクラブでのオリエンテーションはいかがでしたか。当地区として初めての泊りがけでのオリエンテーションでしたが米山奨学生学友会(関西)やチームRYLAの協力もあり、皆さんの溢れんば

かりの笑顔が印象的でした。これからの 奨学生生活を是非有意義に過ごしてくだ さい。

ロータリークラブは言うまでもなく有 能な職業人の集まりです。つまりロークラブは米山奨学生にとっては正 人材の宝庫なのです。ロータリアンと 人材の宝庫なので、米山奨学生は色々な れ合うことで、米山奨学生は色す。 米山奨学事業はロータリークラブがあって 受学事業はロータリークラブがあって と言えます。

2018 学年度米山記念奨学生の皆さんは、せっかくの機会なので例会やロータリーの行事に積極的に参加してください。そして奨学期間が終了したときに成長した姿を見せてくれることを楽しみにしています。



**──**素は米山奨学事業に多大なるご理解、ご協力いただきまして誠にありがとうございます。

2017-18年度は米山記念奨学会財団設立50周年、米山梅吉翁生誕150周年であります。この記念すべき年度に少しでも米山奨学事業に関わりをもてる機会を得ることができたことに感謝を申し上げます。

2017 学年度末に、終了式を終えた一人の米山奨学 生に奨学生として最後の卓話をお願いしました。そ の彼は翌週には入社式を控えているにもかかわらず、 卓話を快諾してくれました。米山記念奨学会を語る 時によく使われるキーワードは『日本と母国との懸 け橋』・『国際人材育成事業』・『学友会』です。 その彼は卓話の中でこのように仰いました。「自分 はこの3月で米山奨学生を終了するけれども、ロー タリーとの関わり合いをこれからも持ちたい。その 為には学友会に参加し、これから米山奨学生になる 未来の後輩のために少しでも力になりたい。」そし てこのようにも仰いました、「自分の就職する地域 は大阪ではないけれども、就職先である京都で学友 会に入って頑張ります」と。この言葉はまさに、未 来の後輩達ためにという【懸け橋】であり、【学友会】 に参加しロータリーとの関わり合いを持ちたいとい う【国際人材育成事業】の成果ではないでしょうか。

おそらく彼は受入れクラブの会員、カウンセラーとの深いつながりで奨学期間を過ごし、ロータリいで皆に愛され、カウンセラーに精一杯の愛情を注いいただいた結果ではないかと思います。ロータを自然と卓話で伝えてくれました。奨学事業の価値は下れて変学生を採用したか』で決まり、さらにであるところは『どんな奨学生に育てたか、育って関いたか』と言われます。まさに、米山奨学事業に関いたか』と言われます。まと実感できた瞬間でございました。

2018 学年度、新規米山奨学生になられた皆さん、受入れクラブのロータリアンとの交流を楽しんでください。そしてカウンセラーには自分の親のように何でも相談してください。そして人を愛し、愛されて下さい。そうすればロータリーライフが非常に誇り高く過ごすことができ、充実した奨学期間になるでしょう。そのための努力も忘れず勉学にも励んでくださる事、期待しております。

最後になりますが、受入れをしてくださった各クラブ、カウンセラーの皆様、是非ともこの機会に米山に触れ、米山を感じ、米山を支援して頂きますようお願いし私のご挨拶にかえさせていただきます。

たしは大阪梅田東ロータリークラブに所属している馬梨奈と申します。2017年4月に米山奨学生として選ばれ、今日までの1年間、カウンセラー革嶋恒徳様と大阪梅田東ロータリークラブの皆様とご一緒に本当に様々な素晴らしい経験をさせていただきました。



他にも、地区大会のお手伝いや

# 感謝と贈る言葉米山奨学生



### 禹 梨奈(大韓民国) 大阪梅田東RC関西大学大学院

他クラブの通訳のお手伝いをしたことも思い出になりましたが、皆様と一緒に宝塚観劇を鑑賞できたことが一番の思い出に残りました。もちろん、初めてだったこともあり、いまだにあの時の感激が鮮明に残っています。



た卓話ができなかったとき、休ませていただいた上、振替の卓話日を調整していただきました。あの日のたくさんの方々からもらった暖かさはまだ、心の中に覚えています。

これから、社会に出ますが、お 世話になった皆様のことを忘れるこ となく、また新しい環境でも頑張っ て、この1年間で得た経験を思い 出し、胸に抱いていきたいと思いま す。

本当にありがとうございました。



# ROTARY NTERNATIONAL DISTRICT 2600 ROTARY NTERNATIONAL DISTRICT 2600 ROTARY NTERNATIONAL DISTRICT 2600 ROTARY NTERNATIONAL DISTRICT 2600 ROTARY NTERNATIONAL DISTRICT 2600

### ラッセル・フロンク(アメリカ合衆国) 大阪なにわRC 関西大学

士課程で過ごした日々の経過の速りをは、見方によって大きなであると、パソコン画面に合と、た日々を考えると、たりした日々を考えるといるといるという間です。先日、米はいき生としてが行い、奨学生としての時間です。たりはいきが行い、受学生としてのからないものもたくさんあります。と思います。



得たものの一つはアルバイトのない贅沢な生活でした。贅沢というのは、アルバイトをせずに済んだことで時間に余裕が間で、研究と家族のためにより多くのフリンできたということでもした。マムで働く妻の代わりに家事をしたりするとができました。アルバイトのない贅にとができました。アルバイトのない贅にとができました。できました。

もう一つ得たものとしてあげられるの は、この大好きな大阪の歴史です。関西に 引っ越したのが 2006 年でしたから多くの 奨学生より先に日本に来たと思います。大 阪に関する知識がそこそこあるはずだが、 もちろん大阪を故郷にしている人のでと ればそれはすずめの涙みたいなものででかいない。 大阪なにわロータリーと難波などにでかる 大阪なにがけました。大阪をより深くしまいただけました。大阪をより深くしま り、大好きな街の歴史にも触れた気がします。

最後に、つながる心を得ました。日本の様々なロータリアンから「縁」についきえていただけました。完全に理解をいると思いませんが、人と受生と、人と受生を表れてもいます。としても関西では、大阪な皆にも、大阪なはにも、大阪なはにも、大阪なはにないがです。ではないだいといるがあます。



ず初めに、ロータリー米山 記念奨学会の奨学生として ♪採用していいただき、誠に ありがとうございます。

貴会の奨学生として、最初に参加し た「オリエンテーション」では、母 国の発展に貢献することを目指し、 日本に降り立って修学に励む奨学生 との交流は私にとって非常に刺激的 且つ自己のさらなる高みを目指す契 機となり、本行事を皮切りに、より 一層勉学に努めております。

貴財団の奨学生として、はや一年 が経過しました。この一年間、貴財 団からのご支援により、これまで抱 えていた金銭面による不安が解消さ れたことで、修学環境が保持され学 業成業に邁進することができていま す。学修に限らずその他の環境下に おいて悩みなどが浮上した際は、速 やかに世話クラブのカウンセラーへ 相談して、アドバイスを乞い実行し た結果、早々に解決することができ ています。ありがとうございます。



私が所属する世話クラブの例会は 毎週月曜日に開かれ、奨学生の義務 として毎月初めの例会には必ず参加 しなければなりません。例会に参加 する際、奨学金の受け取りのほか、 卓話をしています。近況の報告や学 業状況などを卓話しています。例会 のみならず、食事会やクリスマスパ ーティーなど実り多いイベントが随 時開催され、貴財団の関係者や奨学 生と親睦を深める契機として常に有 益な時間を過ごすことができていま す。



### フレイディアント (インドネシア) 大阪船場RC

大阪工業大学

私は、世話クラブの行事だけで なくロータリー米山学友会が主催 する行事にも参加しています。本年 度は、見学旅行、感謝 in 熊本、宝 塚観劇、忘年会、クリスマスパーテ ィーなど多彩なイベントに参加しま した。多数ある行事のなかで特に印 象強いのは、熊本市内で開催された 『感謝 in 熊本』です。国内に留まら ず、他国のロータリーアン、学友関

奨 係者や奨学生など総勢 447 人が一堂 に会して交流しました。数多くのロ ータリーアンなどと繋がる環境を開 催していただき、ありがとうござい ます。

これから、貴財団の奨学生として 残された期間、より多くの貴財団の 関係者と交流を拡げたいと考えてい ます。また、4年次生として、履修 科目の学修と卒業研究を併行して進 める中、貴財団が実施する行事に参 加し続けます。奨学金の受給が満期 を迎えた後も、貴財団の関係者と密 に情報交換を図り、微力ではありま すが学友会の諸活動にもお役にたて ればと考えております。



わ



### グオバツキ ヤクブ ボイチェフ (ポーランド) 東大阪中央RC 大阪教育大学

回のレポートでは米山奨学生でいる間、私 の日本での生活と奨学金の役割について感 じたこと纏めてみたいと考えています。

日本に来て最初の一年間は日研生、いわゆる国費 留学生でした。その時も奨学金をいただいていて、 生活に困ったことはありませんでした。その時はま だ大学の寮に住んでいて、自分で心配することはほ とんどありませんでした。その一年が終わって、次 大学院に入学したときに、前と違って様々な問題、 ビザ、住宅、収入などを自分一人で解決しなければ なりませんでした。最初の大学の一年、教員免許を 習得するためのプログラムのため、授業の数が多 く、一日のほとんどを大学で過ごしました。一日授 業を終えて、そこからアルバイトをするというの は私の毎日でした。しかし、家賃や生活費が高く、 大学の授業料を免除されても貯金が崩れていていく のを見るがとても不安でした。最初日本に来た一年 とは全く違いました。しかし一年がたってとても思 いがけないことが起こりました。日研生のときのお 世話になった先生から米山奨学会のことを教えて頂 きました。最初は受かるとはとても思わない気持ち で受けてみましたが、気づいたら最終面接まで行っ

て、小学生になりました。米山奨学金の条件が良すぎて嘘みたいでしたが、毎月安定した収入を得てまま費への不安からやっと解放されました。金だでは大き、生活のあらゆる面においてのサポートのは米山がではなく、生活のあらゆる面においてのまからやるとはないのも本の生活で、大きにないでした。個人問題、日本の生活で、米山でではないのもままます。と私が得たのはながなければ、私でではないできずいます。と勉強とアルバイトの両立をうまくできずした友達何人か知っています。

私は今年の四月日本で仕事を始め、やっと日本で社会人として一人立ちます。ここまで来られたのはロータリー米山のおかげです。ロータリーから受けた様々な恩、おそらくまだ早く返すことはできませんが、将来私と同じように日本が好きで、日本で自分の夢を叶えたい留学生を助けてあげたいと考えています。その気持ちがおそらく私が米山から預かった一番大事なもので、それを次に人に伝えるのは私のこれからの役目だと考えています。

山奨学金学生トレバーです。 大阪大学大学院生1年生です。私の研究は人工知能に 焦点を当てております。北梅田ロータリークラブでロータリアンの皆様 にお世話になっております。本日は どうぞよろしくお願い致します.



### Trevor Arthur oldcroft (カナダ)

もちろん、米山奨学金の財政的支援がなければ、日本には全全は人の話した。外国人の話して、お金を稼ぐ機会が非常にして、お金をで、研究を専門としているのでもないるの、この、大学で私の好きな研究をしていたができます。

最終的に、学生の目的は学ぶことです。ほとんどの奨学金は、学生がコースワークを学ぶのに役立ちま

す。しかし、米山奨学金はもっと多いです。この奨学金では、受講者はコースワークに加えて、日本語、地方の文化、日本社会、日本での新しい生活の糧を学ぶことができます。

私は奨学金のために、初年度には 学んだことがたくさんあります。私 は2年目になるともっと勉強するこ とに興奮しております。すぐに、受 学金のおかげで、私は教えて返すこ とができるようになることを願って おります。



# 私の関わり米山奨学金と



### Petrov Alexander (ロシア連邦)

香里園RC(四條畷RC) 大阪国際大学

学生の誰にも国に残った応援している 家族や友達がいる。自分も電話で母と 話っている時、いつも「勉強頑張って ね!私の息子だから頑張れば出来ないことはな いから」と言われる。確かにすぐ側にいないけ ど私を信じてうる人が居るだけで少し心強くな る。しかし、違う国に住んでいるから説明して も上手く伝わらないこともある。日本に来たこ となく、ここの生活のこと私からしか聞いたこ とない母に自分の日常や学校における悩みのこ と相談するのは難しい。もちろんアルバイト先 や学校に仲がいい人がいたけど年が近い人に相 談しにくいこともある。もちろん自分の問題を 自分で解決しないといけないという事実に変わ りはないけれど、こういうときに話が出来る相 手がいればいいなと日本に来 てから私は何回 考えたことある。米山ロータリーの奨学生にな って、例会に参加始めてやっとこういう人に出 会った気がした。この2年間、香里園ロータリ





ークラブと四條畷ロータリークラブ、2つのクラブ で例会の時も例会の時以外、素敵な思い出がたくさ ん出来た。奨学金があったおかげでアルバイトと勉 強の両立を図ることが出来て、無事に大学を卒業出 来た。香里園ロータリークラブに的場さん、四條畷 ロータリークラブに梶川さん、私に2人とても頼 もしい、どんなことでも相談できるカウンセラーが いて、お世話クラブが自分の居場所になった。何か 嫌ことが起きても、壁にぶつかっても、国にも日本 にも私を信じている人がいるからきっと大丈夫、頑 張ればきっと乗り越えられると思うようになった。 前より自分が強くなった気がした。奨学生ではなく なってもこの2年間でクラブで過ごした時間絶対 に忘れない。いつか、恩返しが出来るような人間に なるためこれからも頑張ってゆきたい。私を奨学生 に選んでくれて心から感謝する。ております。

私を強くしてくれてありがとう

年4月から、幸運なことに 米山奨学生の一員になるこ ╮とができました。大阪ネク ストクラブでお世話になりました。 奨学金のことだけでなく、クラブに 入って、みなさんに面倒を見てもら って、大きな家族のように接しても らって、うれしかったです。

5月の例会で初めて卓話をしたと きは、とてもドキドキしたことを覚 えています。例会は、ロータリアン の方々と交流できる大切な機会でし た。もちろん、ご飯もとってもおい しかったです。



カウンセラーの近藤先生に出会 えたことは、とても幸せなことでし た。近藤先生は、すごくエネルギッ シュでやさしい人です。大学での勉 強のことや、生活のことなど、いつ も気にかけてくれました。広島の宮 島や、年末のカウントダウンのコン サートや、京都の嵐山や、いろんな ところに連れて行ってくれて、ゆっ くり色々とおしゃべりできました。 先生のお父さんやお母さんにも紹介 して頂き、一緒に食事をする機会も 作って頂きました。

### 王 茜(中国) 大阪ネクストRC 大阪教育大学



### 絆

去年6月には大学で行われた、イ ブニングコンサートという音楽会に 出演しました。私の大学は、すごく 山の中の不便なところにあって、時 間も平日の午後だったのですが、お 忙しい中、近藤先生に聴きに来てい ただけました。本当にうれしかった です。当日一緒に出演した同じ大学 の人の中には、家族や友達に聴きに 来てもらう人も沢山いますが、私は 留学生なので、大学の他の学生と違 って、家族や友達に聴きに来てもら うことが出来ませんでした。でも、 今回は近藤先生に来て頂くけて、私 にとっては初めてのすごいことでし た。上手に弾けなかったところもあ りますが、忘れられない思い出にな りました。

大学院では「変奏曲」の研究を しました。モーツァルト、シューマ ンのピアノ変奏曲を取り上げて、ピ アノ演奏表現に応用することを目的 としました。卒業論文では、この2 現 曲の分析に加えて、今、私がピアノ を教えている生徒の即興演奏の指導 に、実際に変奏曲を使いレッスンを した結果を取り上げました。勉強し たことを、子供達への指導に役立て る研究が出来たことは、自分にとっ ても大変有意義なことでした。

あっという間に1年が過ぎ、今日 の卒業を迎えました。でも卒業はお 別れではありません。これからも、 卒業生として、学友として、ずっと 米山の一員として、縁を大事にして いきます。







### 孫 雲之鵬(中国) 大阪うつぼRC大阪大学

ータリー米山奨学会第 2660 地区の 関係者の皆様、こんにちは、2017 年度米山奨学生である中国出身の 孫雲之鵬です。この一年間で大阪うつぼロ ータリークラブにお世話になっておりま す。

今日のスピーチのテーマは米山奨学金と 私の関わりです。

2017年10月の7日から9日までの三 連休の時間を利用し、私は2017年度国際 ロータリー第 2660 地区秋のライラセミナ ーを参加しました。とても有意義な3日間 だと思いました。ライラとは若者たちの中 にある、指導者としての資質を啓発すると ともに、青少年指導者としての知識と技術 の向上を目的とするプログラムです。一言 といえば、リーダーシップに対する理解の 促進とその育成です。今回のライラのテー マは「青少年の夢と希望」です。そのため、 自分は外交官という夢をいつも心の中に言 い回し、活動を参加した。参加者全員は6 人一組とし、チームごとに動くようになり ました。私は所属するAチームが中国、 韓国、アメリカ、日本4カ国のメンバーを 含んでいるので、一番グローバルな集まり だと言えるのではないでしょうか。マシュ マロ・チャレンジ、貿易ゲーム、野外研修 などを体験しながら、チームの団結力がま



### 体口 験 しタ たリ と米 や山 勉奨 強学 し生 たの と員

すます高まっており、メンバーたちの間の 友情もより一層深くなりました。私種して、友情を収をして、友情を収をして、をきるとができるとができるができるができるができるができるができるができるがでいた。自分の理解がらいとは、一番上のではないがでは、いくのができて本当に良かったと思いまかでもがでりまりできましたいです。

次はその後に参加した米山奨学生レクリとを出てて話りについて話りについて話したでしています。この件は特に付き合うにならないに対してはいるが、はいいですが、しかいたが見当を表している。というないですが、しかいたが見当を表しているがある。というないですが、まずにはないですが、まずにはないですが、まずにはないですが、まずにはないですが、まずにはないではないですがにはないですがにはないですがにはないですがにはないます。

奨学生生活は後一ヶ月くらいしか残りません。本当にあっという間でした。しかし、たとえ奨学生という身分がなくなったとしても、この一年間で世話クラブの皆様と一緒に構築した絆は決して消えないと信じています。これから残ったわずかの時間もクラブの皆様と大事に過ごしたいと思います。ありがとうございました。



## 現役奨学生感想

### 『米山奨学金と私の関わり』楽しみ、成長と感激の | 年間



### 薛 頌平(中国)

は 2016 年 4 月に大阪大学文学研究科博士前期課程 (日本学) に入学しました。2017 年 4 月、幸いなことに米山奨学生となり、1 年間大阪東淀ちゃやまちロータリークラブにお世話になりました。

米山奨学生となったおかげで私は月に14万円をいただき、勉学や研究に専念することができました。そして、奨学生に与えられる様々な体験もできました。奨学生として月に1回以上世話クラブの例会に参加する義務がありますが、私はそれ以上の回数参加いたしました。なぜなら、例会において多様な背景や豊かな社会経験をお持ちのロータリアンの方々とお話を伺える珍しい機会があったからです。

そして、私も卓話をする機会を3回与えられました。せっかくの機会のため、私は色々な話の仕方を試してみました。例えば、一方的にスピーチをするのではなく、聴衆に質問を聞き、または聴衆にあるテーマについて討論していただき、数人の聴衆の意見を聞いた上で自分の話と繋げました。3回卓話をするため、自分が話したことがなく、変わった話をテーマにして挑戦しました。1回は「愛を伝える5つの方法」というテーマを設定し、アメリカ人である

### 大阪東淀ちゃやまちRC 大阪大学

Gary Chapman が主張している人間関係の見方を紹介しました。アンケートをお配りし、ロータリアンの皆様に記入していただき、お互いの愛を伝える方法を共有していただきました。皆様はとても興味津々の様子で聞いてくださり、私はとてもうれしかったです。以上の卓話において話の技や日本語を磨くことができ、とても良かった経験ができました。

通常の例会はあるホテルで行われますが、時折別所で開かれることもありました。1回は京都で舞妓のパフォーマンスや角屋の見学を含んだ変わった例会に出席いたしました。日本人にもなかなか珍しい機会である舞妓の接待をお受けしてとても楽しかったです。例会以外にもクラブのロータリアンの方々との個人的な関わりがあります。一緒に花火を鑑賞したり、老人ホームでクリスマス・パーティーを行ったりして、ロータリアンの皆様と楽しく有意義な時間をたくさんお過ごししました。

楽しみ、成長と感激ばかりの米山奨学生をしていたこの1年間は、これからも忘れぬ思い出になるでしょう。

### 感謝の言葉



### 王 敏知 (中国) 関西大学 大阪西南RC

山奨学生になってから一年間は大変幸せな時間を 過ごしました。大阪西南ロータリークラブの皆様 に暖かく支えてくださって、大変感謝いたします。 カウンセラーの宗次様と、宗次様の奥様もとても優しく 接してくださいました。私の夢、勉強の事情、個人的な悩 みなどの、時に真面目すぎて面白くない話をいっぱい聞い てくださって、理解してくださいました。時には何かのテーマを一緒に討論して、時には日本のマナを教えてくださって、時にもクラブの食事に招待していただいて、おかげで学生として滅多に口にすることができない食事もできました。

楽しいことのほか、勉強できたこともたくさんありました。特に自分は環境倫理・環境思想について勉強していましたので、例会の卓話でロータリーの倫理を紹介した時も色々考えさせていただきました。また、今でも一番記憶に新しいのはやはり RYLA セミナーです。水野さんはスピーチを通して「Responsibility というのは Ability to respond」ということを教えていただきました。

地球温暖化によって海面が上昇し、すでに被害を受けている国があります。その一つはフィジーです。フィジーの首相フランク・バイニマラマ氏は去年の11月に行われた国連のCOP23で世界各国の協力を呼びました。

「Unless the world acts decisively to begin addressing the greatest challenge of our age, then the Pacific, as we know it, is doomed」「世界がきっぱりとこの巨大なチャレンジーに向き合って行動しはじめない限り、太平洋は、皆様がご存知の通り、運命から逃れない。」と

当地は海面の上昇によって住民は高地に避難するだけでなく、暖かくなった気候、及びエルニーニョ現象に合わせ

て、食料の生産や水を媒介する病気なども深刻になってしまいます。国境の3分の1は人間が住むには適切でない地域であるそうです。

一方、大国のアメリカも被害を受けています。アメリカの東南にあるマイアミでは天気がいいのに水が地下から湧いてきて町中が浸水する現象が起こります。その現象にちなんで「Sunny day flooding」と名付けられました。政府は膨大な資源でこれから30年しか対応できない政策を組み立ています。

ここですべてを羅列することはできませんが、知っている諸事情に対してどう「Respond」(答える)べきか、国境に止まらず一人のコスモポリタンとしてどういうふうに自分の Ability(能力)を生かし、Responsibility(責任)を取るのかを考えていくことが、この一年日々考えている課題でありました。これからは食文化、倫理学と環境問題を結びづいて深くもっと理解して行きたいと考えています。

去年は国際ボランティアに参加し、アジアの各国の代表 者を日本に招き、これから食べ物の問題について一緒に考 えました。また自分自身も2年前から神戸市政府が主催す るプロジェクト「食都神戸」に通訳やアシスタントとして 手伝うチャンスをいただき、日本、香港、そしてアメリカ で日本食について発信しています。来週も引き続きロスに 行きます。今の自分は親善大使とはとても言えませんが、 自分の能力をできるだけ生かして、宗次様の期待に答えら れるようにこれからも努力して行きたいです。

今までお世話していただきましたロタリアン、奨学生の 皆さん、本当にありがとうございました。

ご清聴ありがとうございました。

### 米山奨学金と私の関わり



### 趙 思邈(中国) 大阪大学 摂津RC

山奨学金と私の関わりと言うと、自分の夢が近づき、皆さんと出会いました。いつもとは違った機会をいただきましたので、少し言いたいと思います。

最初に、奨学金をいただけていることに心からお礼申 し上げます。私が奨学金制度を利用させていただくように なってから、私の日本での生活や考え方は大きく変わりま した。皆さんに何度でもお礼を言いたいことが2つありま す。

一つは、奨学金のおかげで、夢に近づくための勉強、研究に集中する時間をたくさん作れることです。本当にありがとうございます。

奨学金をいただくようになってからアルバイトをしなく ても良くなりました。その分、大学での研究にほとんどの 時間を使えるようになりました。発表や論文など、まだま だやることがいっぱいですが、なんの心配もなく集中する ことができるのは、奨学金制度と皆さんのご支援のおかげ です。

私の夢は、世界の隅々まで、「質の良い教育」を提供し、 定着させることです。そのために「遠隔教育」について研 究しています。遠隔教育とは、インターネットから郵便ま で、あらゆる通信網を手段に遠く離れた人へ学びを提供す ることです。

研究が進めば、どんな状況の国、どんな地域に住む人にも、教育資源が公平に提供されます。世界中のすべての人に、教育を受ける平等な権利があります。そして、質の高い教育を受けることで、誰もが、その生活や考えなど、自分自身を変えていく力を持つことができます。そんな背景

から、私は遠隔教育についてさらに深い知識と経験が欲しいと日本へ留学しました。いまはまだ、夢の途中ですが、 これからもできるかぎり、精一杯頑張りたいと思っています。

そしてもう一つは、奨学金制度のおかげで、皆さんと出会えたことです。この経験は、何物にも変えられない私の宝物です。本当にありがとうございます。奨学金をきっかけに、皆さんと仲良くなれました。いろいろな場所や機会へのお誘いもたくさんいただきながらそのすべてに参加できず残念に思っています。しかし、毎月の例会にはできるかぎり参加しようと思っています。例会に参加することがとても嬉しいからです。

例会では、毎回、いろいろな方のお話しを聞くことができます。日本語が私にとって難しい時もありますが、内容 そのものは理解しています。

ロータリアンの皆さんは、「ビジネスを通して社会に役立つ」という気持ちを、強く持っているのを感じます。自分の信念をしっかり持って、経済の先を見て、自己啓発もわすれない。仕事一筋ではなく、いつも余裕を持って、人のために何ができるかを考えています。

人生経験が豊富な皆さんのお話しを聞くのは、私にとってすべてが勉強です。このような機会をもらえている自分は、とても幸せだと感じます。奨学金を通じて、自分の夢が近づき、皆さんと出会いました。

最後にもう一度、言わせてください。夢への後押しをありがとうございます。そして、皆さんと出会えたことに心から感謝申し上げます。



### 韓 妍嬌 (中国) 大阪大学 池田くれは RC

様、こんにちは。2015 年 4 月から 2016 年 8 月から米山奨学生として池田くれはロータリークラブにお世話になっております。韓妍嬌と申します。本日、これまで米山奨学生としての感想についてお話しさせていただきます。 どうぞ、よろしくお願い致します。 少し長くなりますが、まず自己紹介させていただきたいと思います。

1994年中国遼寧省瀋陽市に生まれました。教育熱心な両親の影響で、3歳から英語を学び始めました。外国人の先生の授業を受け、その時から、言葉をで化に大変興味を持つようになりました。小学校をに大変興味を持つようになりました。小学校で中間の外国語マースで出ました。その学校で中学校から週6ココンをでいるではました。と思いました。数名のではならないました。数名のではなく、と思いようをではなら、と思い、今まで日本はなら、と思い、方を迷いなく選びました。

2012 年 10 月同級生 80 人と一緒に来日し、京都にある関西語言学院で午前授業を受け、午後は大学受験を準備してました。11 月留学生試験(日本人のセンター試験の感じ)を受け、その後いくつかの大学を応募し、東京外国語大学の国際文化学科と大阪大学の外国語学部二つの大学に合格し、当時通っていた日本語学校の担当の先生と相談した時、かんさんだったら、絶対関西でしょう、性格的には関西だよ

って言われ、大阪大学を選びました。

大学に入った当時、自分なりの大学生活を計画をしてました。一二年生の時、学業に専念し、取れる単位を全部揃え、三年生から専攻の授業たけを受けながら、進路について考えようという計画でした。

二年生の後期、学校のホームページでいくつかの 奨学金の募集要項が乗せてました。その中の、奨学 金による経済的な支援だけでなく、ロータリーク 通った支援がある、また例会の出席と奉仕活動なに 通った文援がある、また例会の出席と奉仕活動なに のイベントに参加できると書いてました。 さく興味を持ち、応募してみました。当時三人の 質官の中で一番左に座り、ニコニコしながら、質問 してくださった方が田中さんでした。 をの後無事合 格という連絡をいただき、懇親会ではじめてカン セラーの松室先生と先輩の鐘君と出会いました。

その後、4月に米山奨学生になって以来、池田くれはの例会に参加させていただいてました。約半年ぐらい、毎回不安と期待が入り混じったどきどき感を感じながら例会に参加してました。

三年生に上がり、専攻の授業が始まり、周りの日本人学生たちにはすでに就活をし始めた人が多くいます。ただ自分は将来やりたいことがまだ見つからず、米山記念奨学生になった2年目、外国語教育(バイリンガル教育)、日本語文学、日本語語学三つの研究室に所属してました。毎日図書館が閉まるまでレポートに取り組む生活でした。奨学金のおかげで

バイトもしてましたが、学業に集中できました。疲れたり、レポートが進まないとき、ストレスを感じることがよくありました。いつもの例会の時、吉井先生をはじめいろんなロータリアンの先生たちが声をかけて、励ましてくれました。自分が抱えていたストレスを吐き出してみたことによって、アドバイトか応援の言葉を頂き、エネルギーをもらい、もっと頑張ろうという気持ちになりました。

また、最初のオリエンテーションをはじめ、お世 話クラブの例会、家族移動例会、クリスマス例会、 宝塚観劇会、ライラセミナーに全部積極的に参加し てました。ロータ リーの方々と身近で接することも いろいろできました。これらの経験を通して、以前 に外から見ていたロータリーの活動を中から見たり 体験したりすることができました。そして、ロータ リーとかかわる1人として、特に奨学生として、様々 なことを考える貴重な機会と経験を得させていただ きました。心より感謝申し上げたいと思っておりま す。大学三年生の後期、半年就活で答えを見つから なかった私は、今までずっと行きたかった交換留学 を応募してみました。その考えを聞いたクラブの先 生たちも応援してくだしいました。無事に試験を通 し、2016年8月から約一年間アメリカに留学いくこ とになりました。

ほかの奨学生同じように大学卒業まで米山奨学生を卒業できませんでした。しかし、私は、米山奨学生を卒業しても、ロータリーとの関わりを大事にしたいと思いました。 2016 年 8 月、日本からアメリカに出発する時、カウンセラーをはじめ何名の先生を空港まで見送ってく れました。誰も知らないアメリ

カに行っても、日本に応援してくれ方、見守ってくださった方々がいますよ、帰ってくるのを待ってますよって言ってくれました。そこから、一回日本を離れ、アメリカから日本語を見直すことができ、日本で就職することを決心しました。

2017年5月、アメリカから戻り、世話クラブいけだくれはがポストクラブとして開催するライラセミナーに参加し、久しぶりにお世話になったロータリアンたちにお会いすることができました。家族のように暖かい、明るい表情でお帰りって行ってくれました。3日間の合宿で大きなエネルギーをいただき、世界にある人々をつなぐ仕事に携わりたいというに向け、就活解禁後一週間で内定をもらい、ANAに就職しました。就職活動を終え、チームライラ、ロータアクトとしていろんなイベントに参加してました。

ロータリーとの出会いから3年、気づいたことがたくさんあります。本来なら得られないたくさんの出会いをロータリーの活動を通じて得られましたし、この3年間、私の人生の大きなイベントには、いつもロータリーの方々がいてくれました。

奨学生になってから、大学と異なる空間、社会に一方踏み出すことができ、人生の先輩との交流から、私たちは常に他人との関りの中で生きていること、またこの人のつながりを大事にし、感謝の気持ちを忘れず行動すべきだと生活の意味を新しく理解できました。

2018年4月、いままで離れたことのない関西を離れ、東京で働くことになりました。ロータリーで得られた出会いと経験を今後の仕事にも活かそうと思います。人と人を繋げ、人間の心と心を繋げる人間になるため、努力します。これからもずっと私の成長や、頑張る姿を見守ってください。

日本には「一期一会」ということわざがありますが、私とロータリーとの出合いをきっかけに、こうして多くの新しい出会いが生まれていることを、心からうれしく思っております。最後になりますが、今までお世話になったロータリーの方々に心より感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

2017/4/5	2017 年度米山新奨学生オリエンテーションヴィアーレ大阪
2017/6/3	企業見学 伝統の継承・奈良筆匠の技と心
2017/7/2	2017 年度米山総会及新規奨学生歓迎会【 Action with Smile 】 KKR ホテル大阪
2017/7/24	2018年度米山学友会第 I 回役員会 2660地区ガバナー事務所
2017/8/26	米山記念奨学会財団学友50周年記念&世界米山学友会設立式典【 感謝 in 熊本 】 熊本ニュースカイホテル
2017/10/15	地区奨学金委員会主催米山奨学生レクリエーション大会 宝塚劇場ー観劇
2017/11/10	RI2660 地区 2017 ~ 2018 年度地区大会 帝国ホテル
2017/11/11	RI2660 地区 2016 ~ 2017 年度地区大会本会議 NHK 大阪ホール
2017/12/16	2017 年年末忘年会 スパイスバル サウンドブーツ
2017/12/9	第 I 5 回ロータリー X'mas in USJ 大阪ユニハ・ナルシティロータリークラブ・主催。施設の児童を招待し、学友会は一日親として:応援参加 ユニバーサルスタジオ
2017/1/28	2017 年度米山学友会第 2 回役員会 2660 地区ガバナー事務所
2017/1/27	次年度米山奨学生面接試験:応援参加 サニーストンホテル
2018/2/24	地区奨学金委員会主催の米山記念奨学生終了式、歓送会 千里阪急ホテル「樹林の間」
2018/3/3	2017 - 2018 年度 米山感謝祭 KKR 大阪ホテル
2018/3/25	2017年度米山学友会第3回役員会 2660地区ガバナー事務所
2018/2-4 月	関西学友会会報(34号)

編集・校正・印刷・図案

年間行事の表

年間行事報告

年の6月3日、奈良の企業 見学に行って参りまし、世 見学に行って参りまし、世 現遺産である春日大社に行きました。 春日大社は、前にもいったこと がありましたが、こうして奨学生の 仲間と学友会の皆さんとわいわいに ぎやかに行くと、また違う楽しさが ありました。

神社では一周しながらあちこち細 かいところまで巫覡さんに説明をし てもらいました。海外から来た私た ちにとって、神社は不思議だらけ。 むろん、質問や知りたいこともたく さん出てきましたが、巫覡さんは、 そんな私たちに対して丁寧にかつ親 切に応じてくれました。あの時の巫 覡さんに感謝いたします。そして、 偶然神社で結婚式を挙げる方々がい たので、近くでその様子を見ること ができました。日本では、結婚式場、 協会のほかにも神社で式を挙げるこ とができるそうです。近頃では、海 外の人も日本の神社で式を挙げるこ とがあるそうです。しかし、高額の お金がかかると聞いたことを覚えて います。その分、一生の思い出にな りそうです。



そして、企業見学として訪問した ところは、「奈良筆」という筆を創 るところでした。筆は、今より 2300 年ほど昔、中国から始まったと伝え られていますが、その中でも奈良は 日本の筆の発祥地であり、「奈良筆| は日本の筆のルーツになったそうで す。筆の作り方は、初めて知りまし た。筆は動物の毛で作られますが、 どの動物なのかそして採取の時期、 体毛の部位などによって仕上げが微 妙に違ってくるそうでした。筆に 関していろいろ教えてもらった後、 実際に自分で筆を作ってみる体験も しました。きれいに出来上がった筆 は、今でも大事に保管しています。 筆は、学生時代以来、初めて触って みると思いますが、これほど丁寧な 作業が必要なものとは思いもしませ んでした。職人さんたちを心から尊 敬します。





てきて





企業見学の前に、「菊岡」 漢方では見慣れたのこでは見かられたでは見かられたのでは見かられたのではでからいたがです。 でではなかでで方ではは、本本かがで方でははなかでで方でが、本本がでで方でが、本ででであり、できるであり、肌にはいいでであり、肌にはいいに、とったがでよいにはがいいができまりに、どそれができました。

また、自由時間を通して、近くの道や店を歩き回りながら写真もたくさん撮りました。「菊岡漢方薬」の近くに足浴ができてお茶もおいしいとても雰囲気のいい喫茶店がありますが、またいつか行ってみたいです。

短い時間でしたが、一日間たくさんのことを知ることができて普段はなかなかできない有意義な時間を過ごすことができました。ぜひ、みなさんも参加してみてはいかがでしょう。

### 禹 梨奈(韓国) 関西大学大学院 大阪梅田東 RC



### 2017年度米山総会及び新規奨学生歓迎会



### 2017-18 年度 米山奨学生学友会(関西)会長 ディネス シュレス

2017年6月末にネパールへ親戚の結婚式で帰国していました。7月4日までの予定でしたが2日に関西学友会の総会あるので1日の深夜便でカトマンズを出発、午後関西空港に到着しました。荷物を家に掘り込みその足で会場KKRホテルへ向い、間に合いました。

2017年度米山奨学生学友会(関西)総会では第1部は活動報告、会計報告、事業計画、新規役員の選任などを行いました。第2部は懇親会、テーマ「Action with Smile」に合わせて企画しましたアクションの武術的なショーを学友たちが披露。余興:スマイルを笑いにしたクイズが参加者みんなを大いに笑わせました。新規奨学生34名の紹介の時は世話クラブのロータリア

ン先生方も応援の感じで見守っておられました。

懇親会では世話クラブのロ-タリアンの先生方と学友・奨学生の交流もありました。

日本国内、他地区の学友を含む海外から(韓国学友会、中国学友会、台湾学友会、モンゴル学友会)の会長・役員多数の参加で例年のように学友の大集合になり、盛大に盛り上がりました。最後にロータリーソング手に手つないでを全員で歌ったときは和やかでした。

ロータリーアン77名、現役奨学生34名、学友36名、家族・他16名計163名の参加。





### 『感謝 in 熊本』実行委員長 何 玉翠(HO YUTSUI)

山学友が世界各地でご活躍しています。いつ集合するのか?いつ全員がお会いできるのか?何かきかけがないと大集合することができないと思います。

2017年度は国際ロータリー財団・学友設立50周年記念です。そこで私たち米山学友が国際ロータリー財団・学友設立50周年記念を祝して、世界米山学友が【感謝 in 熊本】のイベントを企画しました。そして、記念事業として、『世界米山学友』連盟を発足します。

【世界米山学友連盟】の発足地は第二の故郷である日本に【感謝】の気持ちを以て、2016年震災地であった熊本を選びました。少しでも被災地に役が立てるように【熊本】でこの50周年祝賀会を開催地として企画しました。

2720 地区ホスト学友会としての協力、関西学友会から一行 60 名近くの参加以外、海外から台湾、韓国、タイ、ネパール、モンゴル、スリランカ、マレーシアの学友会と日本国内各地からの学友会、学友そして各地区ロータリアン及び家族など 450 名近くの大集合となりました。

2017年8月26日(土) ANA クラウンプラザホテル熊本ニュースカイにて、世界米山学友連盟の成立が韓国学友会全炳台会長により宣言、交流親善、世界学友大集合の予定、次回開発とに世界学友大集合の予定、次回開発を1919年モンゴルにで、全型大変が2021年台湾、また2年後希台の学友会所在にて開催予定。そしていいくの対明で開会致しました。



勿論【世界学友】と【関西学友】 のオープニング【朗読劇= The 米山 ・・・米山梅吉翁の生涯、功績、米山 奨学金制度の由来】で会場を感動さ せ、大きな拍手を頂きました。第二 部各地学友の歌、踊りで更に盛り上が り、大成功ともいえる『感謝 in 熊本』 でした。

『感謝 in 熊本』世界学友の頑張りもあって、熊本復興支援に 100 万円の寄付が達成できました。ご支援、ご参加の皆さま、ありがとうございました。

関西米山学友の皆さまを含め、人材の宝庫とも言える米山ファミリーは今後の連携で世界のために役にたつことを努力することに大きな一歩を踏み出しました。今後の展開は楽しみと期待です。ほんどうにたくさんの『感謝in 熊本』でした。







# BBQ @淀

# ]]]

し気温が涼しくなった11月5日 (日)に淀川河川敷でバーベキュー を行いました。最初は10月末に予 定していましたが、台風のため延期しまし た。雲一つもない青空、20℃ほどの気温、最 高に気持ちよかったです。

今回の参加人数は40名ほどであり、昨年 度と比較し、少し増えました。イベントの時 にいつも何か仕込む米山学友会ですが、今回 はただただ一緒に楽しい時間を過ごしていま した。おいしい肉を食べながらワイワイと会 話を楽しんでいたり、たまたまその日に大阪 マラソンが開催されており頑張っている選手 たちを応援していたり、奨学生のお子さんた ちとサッカーをやっていたりし、アットホー ムな雰囲気の中でゆっくりと一日を過ごしま した。

宗教上で豚肉を食べられないイスラム教徒 の奨学生とご家族も今回参加してくれて、豚 肉を焼かない専用のコンロを用意しました。 このようにちょっとした配慮をしていくと、 よりたくさんの人が参加できるので、今後も やっていきたいと思います。



### クリスマス忘年会の幹事として感謝の気持ち

2017年12月16日、関西学友会の忘年会が開催されました。年末のお忙しい時期にaもかかわらず、ロータリアン、奨学生、学友、ご家族を含め、約70名が大勢の方にご参加頂きました。

私が忘年会の幹事を担当する当初は「12月に会社の重要なプレゼンがあるし、年末仕事も忙しいし、私にできるかな?」ぐらいの気持ち



でした。しかし、やり始めると、す ぐに気持ちが切り替わっていきまし た。「参加する皆さんを楽しませる ため」の忘年会という目標の元、米 山メンバー達と一緒に少しずつ形に していくのが面白くなりました。早 速、SNSで幹事メンバーグループ を作って連絡を取り合いました。性 別、国別、得意・不得意などバラン スを配慮した上で忘年会の役割を分 担しました。その後、各チーム分け を行い、各チーム毎にも主体性を持 って取り組んでもらいました。それ により、各チームのアイディアが出 揃う事で更に、企画の多彩さとバラ ンス、歓談との比率など良く考えら れていて、とても楽しい忘年会を仕 上がりになりました。

今回の忘年会に一番大切にした のは、「出席される皆さんが楽しん



振り返ると幹事をやっている間、一部メンバーとは、ほとのでいるでは、なったができる。 の話しかしていなかった感じがった感じの距離生活ではほとんでがいる日常生活が、できるにいるできるが、できる中間といる。 相談でも良い関係できたのは、 はとても繋ができたのは、 特別なながだと思います。

今年選出される幹事にも、このような貴重な機会を楽しんで企画してもらいたいです。これからもみんなで一緒に米山学友会を盛り上げていきましょう♡♡



### 面 有用 (Liu Chunqian)

〜最後、ロータリーファミリー の皆様へ〜昨年末はご多忙の中、関 西米山学友会の忘年会にお越し下さ り、誠にありがとうございました。 今年も是非ご出席下さいますように お願い申し上げます。



### 学友の輪を広げて邁進せよ - 2018 東京ナイト



### 元関西 2660 地区米山記念奨学生現東京 2750 地区米山学友



政

Ⅰ 団設立 50 周年を記念し、 今年2月3日、東京新橋で 第1回目「米山東京ナイト」 を開催されました。

日本国内の福島、関東、名古屋、 京都、そして大阪、遥々海外からも 台湾、中国、タイからも多数のロー タリーアン先生達、ご家族と学友合 計70人以上の宴会でした。

今回の「米山東京ナイト」の企 画は、最初関西 2660 地区ロータリ ー米山学友前会長 Ho 様の提案であ り、この場を借りて、Ho 様に感謝 を申し上げたいと思います。

東京ナイトのお陰で、私自身も 初めてロータリーイベントの為に、 自ら足を運んで、最初から店との交 渉、企画及び当日の司会担当等を経 験させて頂きました。その中でもロ ータリーに関する多々のことが勉強 となり、貴重な経験でした。

今回「米山東京ナイト」を企画 する目的は、普段、各国、各地区で それぞれ活動しているロータリーア ン、米山学友達は、なかなかない コミュニケーションの場を作ること でした。日本第一都市東京で集まっ て、ロータリーに対する思いを語 り、各国、地区のロータリー社会奉 仕活動の展開にも熱く意見を交換し

東京ナイトで、ロータリー皆さ んと新しい出会い、新しい繋がりが 出来ました。皆さんからたくさんの 勇気を頂いた有意義なイベントでし

今回第1回目「米山東京ナイト」 の開催をきっかけにして、ぜひ第 2、3回目でも開催したいと考えて います。

イベントの最後、各地区前会長、 現役会長から貴重な言葉を頂きまし た。特に「We are the family」とい うキーワードがすごく響きました。

毎年、元々関西の奨学生達は、卒 業後東京で就職し、違う都市で人生 の新しい1ページを開く方々が多い と思います。都市が変わっても、ロ ータリーに対する思いが変わらず、 これから東京学友会での皆さんと一 緒に頑張っていきたいです。

我々若い世代の米山学友は、これ からもロータリーの精神を銘記しな がら、先輩達の背方を見ながら邁進 していきたいと強く思っています。



### 年間行事報告

### 恩を次世代に- 2018 東京ナイト



団設立50周年東京ナイトの 司会を務めさせていただくの が大変光栄に感じています。 米山学友会のおかげで、世界中から の学友が集まっております。

私は2015-2016年度の奨学生で す。ロータリー米山記念奨学金は経 済的な支援だけでなく、独自の世話 クラブとカウンセラー制度により、 心の通った支援で私たち留学生に精 神的にサポートしていただいてい ます。ロータリアンの無私的奉仕精 神は私たちに深く影響を与えていま す。

ロータリークラブ、奨学金の様々 な活動を通して、 私たちに色々な機 会を与えていただいています。今の 私は日本語で恐れずに司会できるよ うになり、感謝の気持ちでいっぱい です。

修士の時、奨学金のおかげで、安 心に勉強ができ、無事に名古屋大学 大学院後期課程に進学できました。 ロータリアンからのサポートは体験 してきたので、サポートの力はよく

わかります。そのため、今の研究内 容は留学生のメンタルヘルスに関わ る研究です。日本では現在、留学生 の数が急速に増えている一方で、日 本での生活にうまく適応できない留 学生もまた多く存在することが指摘 されており、留学生のメンタルヘル スの向上は喫緊の課題となっていま す。しかしながら、留学生のメンタ ルヘルスに関する研究は多くない。 そのため、私は援助要請という観点 から留学生のメンタルヘルスに関す る研究を行い、その成果を活かし、 留学生がよりよい生活を送ることが できるように貢献したいと思ってい ます。

「東京ナイト」に世界からの学友 にお会いでき、学友たちはロータリ アンたちから学んだ奉仕の精神を生 かし、米山の学友は世界各地で世界 の平和やみんなの幸せ生活のために 活躍している姿を見えました。私も 学友会の一員として、ロータリアン からいただいた恩を次の世代に伝え たいという気持ちを含め、みんなの ため頑張りたいと思っています。



陳

佳

怡



### 『財団設立50周年記念式典』からのレポート

2018年2月4日、米山財団設立50周年式典が米山梅吉翁生誕150周年記念日にグランドニッコー東京台場にて開催されました。

会場には、国内外から参加した 200 名弱の米山学友を含め、日本全 国各地からのロータリアン、現役米 山奨学生など約 700 名が集まりまし た。

米山財団設立時の理事であられた伊藤先生がご高齢にもかかわらず式典に参加されました。式典準備に関わった関係者、学友・奨学生、すべての皆様に心より感謝申し上げます。



特別表彰(左から3枚目)され たのは坂本精志先生(名古屋名東R



第1部は学友のカレン・ジュリア ウォーターズ氏が司会を担当し、理 事長の『米山学友は日本の宝です』 とのあいさつに続き、斎藤直美RI 理事、東京RC会長の森田富治郎先 生からご祝辞を賜りました。フォー ラム「世界に平和の種をまく」では ファシリテーターを髙野孫左衛門先 生が務められ、パネリストとして陳 思乾氏(台湾)、全炳台氏(韓国)、 ジャンチブ・ガルバドラッハ氏(モ ンゴル)、于咏氏(中国)と私(台 湾)が登壇し、それぞれ学友同士の つながりや学友会の今後の在り方な どついて、経験談や提案を披露しま した。

第2部の祝賀会では入場するロータリアンを学友・奨学生が手拍子で 出迎えてスタートし、来賓として駐 日ミャンマー大使をはじめ、各国大 使館・地域代表機関の方々がご出席 されました。

特別講演(左から2枚目)として、 生前の米山梅吉翁に会ったことのあ る御年92才の阿部志郎先生が「幼 い頃より梅吉翁のような人になりた いと思って育った」とのお話をされ ました。



### 林 小微

### 和歌山東 RC 大阪府立大学

C) ご夫妻です。つづいで、学友代表(右1) として 1965-68 年度奨学生・廖一久(台湾) さんからスピーチをいただきました。最後は、全出席者による圧巻の「手に手つないで」で締めくくられました。



### 米山感謝祭

3月3日に米山感謝祭を行いました。 感謝祭とは、1年間我々奨学生がずっとお 世話になったロータリアンの方々に感謝 の気持ちを表す会です。企画から最後まで すべてを現役奨学生で実行します。

1月から奨学生で集まり、テーマ、余 興、ゲーム等についてアイデア出しをしました。今年の感謝祭のテーマは「わ」でした。ひらがなで書いたのは、この「わ」は 日本の「和」と米山の「輪」を同時に表しているからです。我々米山奨学生は日本で 勉強しているため、様々な日本の文化、 まり「和」の文化を吸収し、米山奨学ましなり、ロータリの「輪」の一員となりました。 余興としては色んな「和」について演出したり、ゲームをしたりし、見に来ていただいた方々に楽しんでいただけたかと思います。その後、この感謝祭の真の目のである感謝の気持ちを表す場面でした。 ずは奨学生がそれぞれのカウンセラーへ1年間募った感謝の気持ちを送るメッセージビデオを流し、クライマックスシーンはお世話になったカウンセラーに感謝でした。

米山奨学会を通したくさんの友達ができました。しかし、感謝祭で企画等の仕事で特に他の奨学生との絆を深めたと思います。今後もイベントを企画・参加し、みんなと絆を深めていきたいです。



### Jordan Bukikosa(アメリカ合衆国) 豊中南 RC 大阪大学





### 2013-15 年度会長 何 玉翠 (HO YUTSUI)

**★★**国、私にとってあまり用がない国、今まで **□** 家族旅行、社員旅行などの観光行事でしか + いかない国だった、しかし近年米山の関係 で、いつの間にまるで隣町みたい毎年訪問するよ うになった。今年度も韓国米山学友の総会に出席 のためにソウルへ、今回は同行する学友がいない ので、娘をさそいました。

総会参加は勿論、海外に親子のみ女子の旅は初 めて、非常に興奮する親子でした!私が米山に対 する情熱は家族の理解と応援があってこそできた ことです。機会があれば、いつも行事に家族を連 れて参加、皆さまは嫌な顔もせず、本当に感謝で す。米山奨学金制度のおかげで本日の私がいるの は過言ではない、一緒に娘同行の米山総会、娘は 若い学友達とは年齢が近く、楽しく2世代ともい い交流ができ、親友ともいえる韓国学友の皆さま との再開ができた韓国総会でした!

勿論、本場の垢擦り、焼肉、参鷄湯、ブルコ ギ……時間ある限りテクテクと親子の旅でした!



### 雑 記

韓国米山総

会に参



## 年間行事報告

### 台湾米山学友会総会に参加



### 国際ロータリー第2660地区パストガバナー 泉 博朗(大阪帝塚山RC)

017年12月2日台湾で行われました米山奨学学友会総会 に参加いたしました。海外の学友会に参加するのは今回が初 めてでしたが、お知り合いの米山学友の皆様やロータリアン の皆様が参加され、また、会の進行や周りの会話がほとんどが日本語 でありました事が驚きでもあり、うれしい事でもありました。広い会 場一杯の参加者が、台湾米山奨学学友会の活況を物語っておりまし た。何よりも、素晴らしいことは、台湾米山学友の皆様が中心となっ て、日本人の奨学生を受け入れていただいている事でした。話では伺 って、もちろん存じ上げておりましたが、直接、目の前に日本人の奨 学生が現れ、報告をされているのを拝見しますと、ちょうど状況が裏 返った感じで、感動をいたしました。また、日本語で例会をしている 学友の方々が中心のクラブがあるとの事、感動の連続でした。それほ どに、絆を感じましたこと、やはり、来てみないとわからないなと思 って、今後の各国の総会にも参加しようと思っております。確かにこ れからは、ITの世界でありますが、まずは顔を合せること、互いの お国の事を理解することが第一であると実感をいたしました。そのた めにも全世界の米山奨学学友の皆様方が手を取り合って親交を深める 事が大事であり、米山奨学の意義もそこにあるのではと感じました。

次の日は台湾学友の皆様にお世話いただき台湾を観光いたしました。関羽を祭っている「行天宮」、衛兵交代の「忠烈祠」、「故宮博物館」、「龍山寺」、落ち着きのあるお茶のお店や、趣のある街角などに連れていいていただきました。楽しいひと時を過ごさせていただきました事、感謝いたしております。

今回の総会への参加は、私にとりまして、米山奨学、そして何よりも、米山奨学学友の皆様方により近づいたことを実感して帰国いたしました。米山奨学や学友の皆様がこれからも益々ご発展されますことを願っております。



### 感謝祭インタビュー



今年(2017年)参加した行事についての感想?

私は感謝祭でロータリー米山の素晴らしさを改めて感じました。

皆さんが楽しくやっています。この1年間どういうイベントが一番良かったと言うと、財団設立50周年のイベントだと思います。参加してよかったです。委員会の方だけではなくて、学友会の皆さんも参加していたのが楽しいです。

2012-2015 年度 地区米山奨学副委員長 (大阪大淀 RC)

吉田 悦治

奨学生になってから | 年間、一番思い出になった事はなんですか?

カウンセラーさんと仲良くなったことです。カウンセラーさんが2人いまして、2人が一緒にいろいろ付き合ってくださって、相談に乗ってくださったことが一番嬉しかったです。

#### 坂田先生はどうですか?

鄭ちゃんが社会に感謝し、奉仕の精神を両親から学わられたと聞いていました。鄭ちゃんがとても心遣いを持たれたので、私にとってそれが一番ありがたくて、とても楽しい毎日でした。

これからロータリーアンの方々と交流を深めるために、何か考えたことがありませんか?

今日試験に合格できて、これからも大阪に残ることができたから、時間があるときに池田くれはロータリークラブに帰って皆さんに会うことがお楽しみです。

#### 坂田先生はどうですか?

交流の場を共に一緒に作っていけるように、いろいろな行事には鄭ちゃんと一緒に参加できたら嬉しいと思います。

鄭 芝瑋(台湾) 関西大学 池田くれは RC



坂田 妙子 2017-18 年度 カウンセラー 池田くれは RC

今年(2017年)はどのようなイベントに参加しましたか?

今年(2017年)は学友会の様々なイベントに参加しました。例えば、関西米山学友会の学友たちと一緒に台湾米山総会、「in 熊本」世界米山学友会設立式典を参加しました。今日初めてですが、感謝祭に参加することができて、とても嬉しいです。

参加したイベントの中で一番印象に残ったイベントは どれですか?

一番印象に残ったイベントは「in 熊本」世界米山学友会設立式典でした。震災地の復興した様子を見てから、自分も元気が出てきましたので、すごく印象に残りました。

これから何をしたいですか?

これから一番重要なのは 2019 年 7 月 27 日と 7 月 28 日に、モンゴルで開催される米山世界大会だと思います。 奨学会の皆さんもぜひ一緒に参加しに行きましょう。

### バルダンニャム・ダリマー (モンゴル)





ロータリーアンから見ると、関西米山奨学会が行うイベントに対しての感想?

ほんとに関西のロータリー米山の活動は関西米山奨学会 に支えられていると思います。

一番私達が自慢なのは学友会の皆さんと地区の奨学委員 会一緒にしっかりと手を組んでいることだと思います。

例えば韓国の世界大会での米山学友たちの夢を成功させたり、今度の財団設立 50 周年のイベントを成功させられたりしたことです。要するに私たちは単に奨学金をお互いに出したり、いただいたりしている関係ではなく、後にいかに緊密にお互いの人生を共有していく関係だと思います。

ロータリアンも学友の皆さんも、そのことをしっかり考 えながら生きていきたいと思います。本当にありがとう ございました。

> 2016-2017 年度 地区米山奨学委員会委員長 (千里 RC)

> > 古城 紀雄

## 年間行事報告

### ロータリー米山奨学生学友会 (関西) 2017年度会計予算書

自2017年7月 1日

収入の部

至2018年6月30日

科 目	金 額	備考
前年度繰越金	1,138,208	
特別補助金	450,000	国際ロータリー第2660地区
会報補助金	100,000	米山記念奨学会
総会収入	800,000	
総会補助金	150,000	米山記念奨学会 @3,000×50
懇親会収入	1,500,000	
懇親会補助金	90,000	米山記念奨学会 @3,000×30
利息収入	10	
総計	4,228,218	

### 支出の部

科目	金 額	備考
運営費	100,000	
会報作成費	200,000	
総会費用	1,000,000	
懇親会費用	2,000,000	
雑費	10,000	
次年度への繰越金	918,218	
総計	4,228,218	

以上ご報告申し上げます。

2017年7月2日

会計 東 林華

### 年間行事報告

### ロータリー米山奨学生学友会 (関西) 2016年度会計収支決算書

自2016年7月1日

収入の部

至2017年6月30日

科目	金 額	備考
前年度繰越金	788,779	
特別補助金	400,000	国際ロータリー第2660地区
会報補助金	40,150	米山記念奨学会
総会収入	760,000	
寄付金	70,000	
総会補助金	129,000	米山記念奨学会@3,000×43
懇親会収入	1,218,000	
懇親会補助金	75,000	米山記念奨学会@3,000×25
利息収入	10	
総計	3,480,939	

### 支出の部

科目	金 額	備考
運営費	80,283	
会報作成費	80,300	
総会費用	816,038	
懇親会費用	1,364,598	
雑費	1,512	
次年度への繰越金	1,138,208	銀行 993,462円、現金 144,746円
総計	3,480,939	

以上ご報告申し上げます。

2017年7月2日

会計 東 林華

会計監查報告

会計監査の結果、会計収支決算書は適正と認めます。



### 2018年度会報募集要項

### 募集要項

2660 地区米山学友会関西地区奨学生の皆様、

本学友会の活動をまとめる会報第34号の入稿についてお願いいたします。

入稿について以下の事項にご注意ください。

テーマ	「私の夢について」、「来日して自分の国 ( ふるさと ) と違うなと思ったこと」 どちらかを選んでください。
字数と枚数	約 1000 字
内容	基本的には自由(エッセー・感想文なども可)です。 ※研究レポートを提出することは、お控えください。
言語	日本語または英語
原稿締切り	2019年2月28日時間厳守でお願いいたします。
送付方法	原稿は PC メールでの入稿を願いします。 ※メールアドレス :yoneyama2660@gmail.com
注意事項	<ul> <li>1.テーマを必ず冒頭にご記入お願いします。</li> <li>2.テーマの下に、所属大学および専攻・名前・国籍、と現・元世話クラブの順番でお願いします。</li> <li>(例:○○○大学○○専攻 大阪花子(日本)、世話クラブ:○○ RC)</li> <li>3.文章の最初に簡単な自己紹介をお願いいたします。</li> <li>4.提出期限を厳守してください。</li> <li>5.作文を提出する際、顔写真(JPEG)も一緒に送りください。</li> <li>できない場合、上記のメールアドレスまでご連絡ください。</li> </ul>

### 編集チーム

編集:鍾 允順(学友・2014 - 2015 年度米山奨学金受給者・世話クラブ;池田くれは RC)校正:アリフ・ザイニ(学友・2013 - 2015 年度米山奨学金受給者・世話クラブ;大阪城東)総括・校正:何 玉翠(学友・1987 - 1989 年度米山奨学金受給者・世話クラブ;奈良 RC)



